

価格高を実感 8割超

昨年
続き

キャベツは「高くても購入」28%

タキイ種苗（京都市下京区）は、2024年の「野菜の総括」を発表した。全国の20～60代の男女4000人を対象に10月中旬にアンケート調査を実施し、まとめたもの。10回目となる同調査の結果からは、長引く猛暑や価格高によるさまざまな影響が垣間見えた。

例年に比べて野菜の値段が高かったと思う人は、84.0%。過去最高を記録した昨年より5.3ポイント低下したものの、依然として高い傾向が続いている。特に高いと感じられた野菜（表②）は、「キャベツ」「トマト」が同率で1位となり、3位以下と10%近い差をつけている。一方「キャベツ」は、高くても買う野菜の2位に入っており（表③）、食卓に必要不可欠で、価格高でも買わないわけにはいかない野菜であることがうかがえる。

野菜の価格が高騰した際に創意工夫していること（複数回答）は、「スーパーで見て安いものを買っている」（42.5%）が最も多く、「もやしなど比較的安価な野菜で補足・代替している」（25.5%）に17ポイント差をつけている。以下「料理に必要な最低限の野菜のみ買っている」（22.8%）、「冷凍野菜を使っている」（22.5%）、「安く買ったタイミングでまとめ買いしている」（21.3%）が2割台で続く。

今回から新設した選択肢では、「価格上昇の影響の少ない野菜を使う」（18.8%）、「野菜の購入量を減らした」（14.8%）の割合が高く、価格高騰が購入する野菜の種類・量の双方に影響を与えていることもわかる。

24年に食べる機会が多かった野菜（表①）は、1位「キャベツ」、2位「タマネギ」だった。20年からの経年比較において、不動のトップ2となっている。

①24年 食べる機会が多かった野菜

1	キャベツ	54.3%
2	タマネギ	54.0%
3	トマト	43.3%
4	キュウリ	43.0%
5	ナス	42.3%

②例年に比べ高いと感じた野菜

1	キャベツ	43.5%
1	トマト	43.5%
3	レタス	34.3%
4	ブロッコリー	34.0%
5	キュウリ	33.5%

③値段が高くても買う野菜

1	タマネギ	31.8%
2	キャベツ	28.3%
3	ジャガイモ	23.0%
4	トマト	22.5%
5	ニンジン	19.3%

④例年に比べ購入量が減った野菜

1	トマト	12.3%
2	ブロッコリー	9.8%
3	レタス	7.8%
4	キュウリ	7.5%
4	ホウレン草	7.5%

24年に気になった野菜に関する二ユース・情報（複数回答）トップ3は、「野菜価格高騰」（41.8%）、「猛暑による野菜

への影響」（36.8%）、「野菜の豪雨被害」（25.3%）だった。ほか「野菜不足」「カメムシ大量発生」など、マイナス要素が強いニュースが上位となった。また、「特にない」（27.8%）人も一定数いることがわかった。